SecureLock Manager Easy の使いかた

本書は、本製品の暗号化機能管理ソフトウェア「SecureLock Manager Easy」について説明します。

SecureLock Manager Easy とは

本製品の暗号化設定を行うソフトウェアです。このソフトウェアを使用すれば、パスワードを設定したり、暗号化モードの変更やパスワードの変更、自動認証などを設定することができます。

お使いになる前に

SecureLock Manager Easy をお使いになる前に、以下のことをご確認ください。

- **パスワードは厳重に管理してください。**
  パスワードを忘れた場合、本製品の設定、認証が行えず、保存したデータは一切取り出せません。パスワードを忘れた場合は、本製品を出荷時の状態に戻してください。

- SecureLock Manager Easy は、Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003 R2/Server 2003 に対応しています。
  ※ 上記は、SecureLock Manager Easy の対応 OS です。製品によっては対応 OS が異なることがありますので、製品の対応 OS にも適応したパソコンでお使いください。
  ※ Windows Server 2003 R2/Server 2003 の場合、コンピューターの管理者（Administrator）権限を持つユーザーでログインしないとお使いいただけません。

インストール

SecureLock Manager Easy は、ドライブナビゲータ（本製品に収録されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー）からインストールできます。以下の手順でインストールしてください。

1　本製品をパソコンに接続します。

2　コンピュータ（マイコンピュータ）にある「Utility_HD-xxxx」（xxxx は製品名）（　）を右クリックし、[開く] を選択します。

3　「DriveNavi.exe」（　）をダブルクリックします。

ドライブナビゲーターが起動します。
※「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。

4　[オプション] をクリックします。

5　[SecureLock Manager Easy のインストール] をクリックします。

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

SecureLock Manager Easy を起動する

SecureLock Manager Easy は、以下の手順で起動してください。

1　本製品をパソコンに接続します。

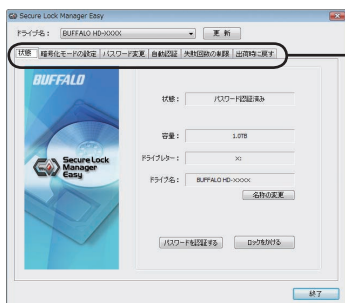
パスワード認証の画面が表示された場合は、パスワードを入力します。

メモ　パスワードを忘れて出荷時の状態に戻す場合は、画面を閉じてください。

2　[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[SecureLock Manager Easy]－[SecureLock Manager Easy] をクリックします。

SecureLock Manager Easy が起動します。

SecureLock Manager Easy の項目説明

SecureLock Manager Easy の画面上のタブをクリックすることにより、以下の設定を行えます。

設定する項目をクリックします。

● **状態（P3）**
本製品の状態を確認できます。

● **暗号化モードの設定（P3）**
暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。

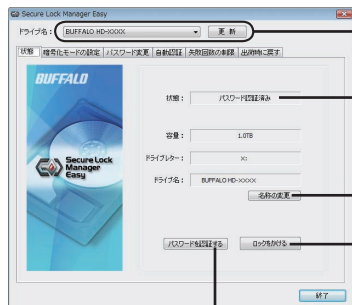
● **パスワード変更（P4）**
登録済みのパスワードを変更できます。

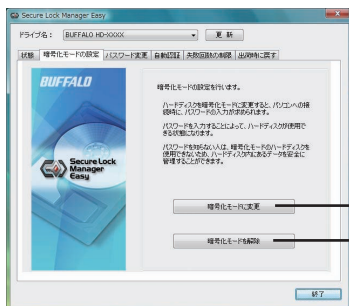
● **自動認証（P4）**
パソコンへの接続時にパスワード入力が省略できます。

● **失敗回数の制限（P5）**
パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。

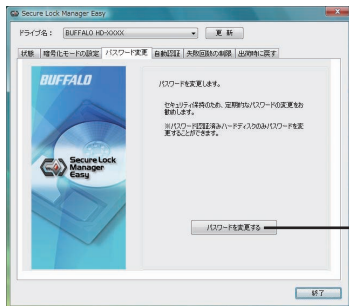
● **出荷時に戻す（P5）**
本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

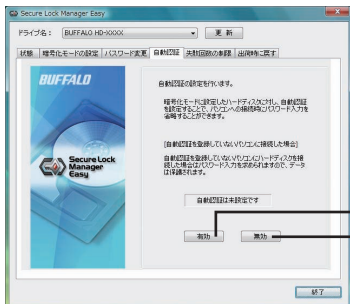
■状態

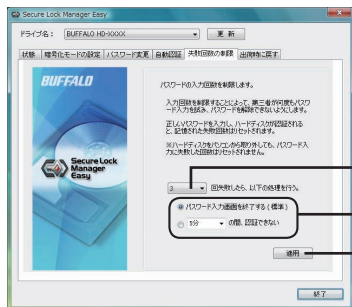
本製品の状態を確認できます。

状態	
通常	本製品にアクセスできます。
パスワード認証前	パスワードを入力するまで、本製品にアクセスできません。
パスワード認証済み	本製品にアクセスできます。

■暗号化モードの設定

暗号化機能の有効 / 無効を設定できます。

■パスワード変更

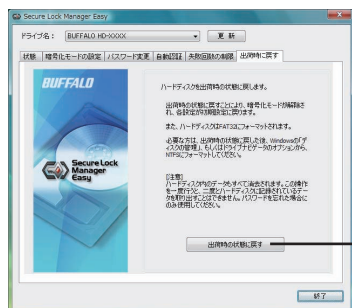
登録済みのパスワードを変更できます。

■自動認証

本製品のパスワード入力方法を設定します。パスワードを自動で入力（自動認証）することができます。お使いのパソコン１台ごと製品ごとに設定を行います。

⚠注意 お使いのパソコンを複数のユーザーで使用されている場合は、自動認証を有効にする設定はお勧めできません。ハードディスク内のデータが通常のハードディスクと同じように見えるため、他の人に閲覧、削除、編集される可能性があります。

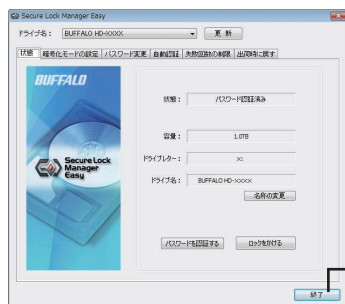
■失敗回数の制限

パスワード入力に失敗した場合の動作を設定します。

失敗回数に達した場合の動作	
パスワード入力画面を終了する（初期値）	パスワード入力画面が終了します。認証するには、改めてパスワード入力画面を起動してください。
XX の間、認証できない	XXは「5分」「10分」「30分」「1時間」のいずれかを選択します。設定した時間が経過するまで、認証できません。

■出荷時に戻す

本製品の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

出荷時の状態に戻します。パスワードや記録済みの全データを削除します。
※FAT32でフォーマットし、暗号化モードは解除されます。

SecureLock Manager Easy を終了する

SecureLock Manager Easy を終了するときは、画面右下の［終了］をクリックしてください。

アンインストールするときは

SecureLock Manager Easy が不要になった場合は、アンインストールできます。アンインストールするときは、［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［SecureLock Manager Easy］－［アンインストール］をクリックし、画面の指示に従ってください。